

会 議 録

会議の名称	第3回 行田市社会教育委員会議
開催日時	平成22年3月18日(木) 開会：午前9時3分 ・ 閉会：午前10時1分
開催場所	教育委員会 2A会議室
出席者(委員)氏名	長谷見 輝 生・富 田 政 博・松 澤 文 子 香 川 宏 行・阿久津 彰 男・内 山 俊 夫・小 川 洋 史 大 澤 弘・大 澤 隆 一・大 平 敏 江
欠席者(委員)氏名	渡 辺 宏・福 嶋 正 一・内 田 尚 男
事務局	大山生涯学習部長、風間ひとつくり支援課長、島田スポーツ振興課長、堀口文化財保護課長、平井図書館長、保住郷土博物館長、萩原副参事、遠藤中央公民館副館長、新井主幹
会議内容	1 あいさつ 2 議 事 ・ 平成21年度の主な事業の経過報告について 3 その他 ・ 生涯学習情報紙「蓮櫓」、行田市PTA連合会会報、関東甲信越静社会教育研究大会報告書について ・ 各課からの報告事項
会議資料	1 主な事業の経過報告について 2 生涯学習情報紙「蓮櫓」49号 3 行田市PTA連合会会報39号 4 関東甲信越静社会教育研究大会報告書 5 平成22年度行田市ジュニア・リーダー研修会募集要項
その他必要事項	

発言者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局	市民憲章唱和 1 開 会 2 あいさつ 長谷見副議長 大山部長 3 議 事
副議長	（1）平成 21 年度の主な事業の経過報告について 各課長から説明を求める。 （説明） ① ひとつくり支援課の主な事業について 風間課長 ② 文化財保護課の主な事業について 堀口課長 ③ 中央公民館の主な事業について 遠藤副館長 ④ 図書館の主な事業について 平井館長 ⑤ 郷土博物館の主な事業について 保住館長 ⑥ スポーツ振興課の主な事業について 島田課長 <質疑>
委員	佐間の史料館は見学者も少なく、収蔵してある板石塔婆は博物館に移管するのもよい。また、伝統文化こども教室は国の予算がカットされるようなことを聞いた。市内で実施していた団体もやめるような話も聞く。市として伝統文化こども教室に対する考え方は。
事務局	佐間の史料館は昭和 52 年に開館した。入館者数も減少しており、平成 22 年度中に廃止する予定である。廃止後の施設は、埋蔵文化財の収蔵、一部展示など、用途変えを予定している。現在、収蔵されている板石塔婆については所有者に返却する。地元で集会所的に利用している会議室についても廃止を予定している。
委員	来館者が少ないのが残念である。管理者は要らなくなるのか。
事務局	廃止とともに管理人は必要なくなる。
事務局	文化庁から委託を受けた財団法人伝統文化活性化国民協会が平成 15 年度から実施した事業で、5 年間を上限とし、補助金を受けることができるもので、平成 21 年度は 4 団体が実施した。平成 22 年度は継続 1 団体、新規 1 団体の 2 団体から申請があった。他の団体は 5 年が経過したことなどから申請がなかった。団体からは今後は個人として取り込んでいきたいとの話を聞いている。本事業は国の事業であり、市として独自に実施することは考えていない。
委員	前向きに考えてもらいたい。子どもの予算くらいは捻出してほしい。公民館は高齢者の利用が多い。子どもの利用につながるような事業を実施することが必要である。
事務局	団体からは指導者等が高齢になって実施できないとも聞いている。市が主催とな

委員	<p>つての実施は考えていない。あくまで地域が主体となって自ら実施してもらいたい。指導者を育成することも必要である。中央公民館は地域公民館とは違うのだから全市的な視点で事業を実施してもらいたい。是非、子ども教室を継続していただきたい。</p>
副議長 事務局	<p>(2) その他について</p> <p>事務局に説明を求める。</p> <p>(説明)</p> <p>① 生涯学習情報紙「蓮櫓」、行田市PTA連合会会報、関東甲信越静社会教育研究大会報告書について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北埼玉地区社会教育委員協議会の総会時期が加須市合併の関係で7月上旬頃になる。また、平成22・23年に行田市が会長となる <p>② 各課からの報告事項について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジュニア・リーダー研修会募集要項 <p><質疑なし></p> <p>4 閉 会</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>